

●人工林整備事業での境界確認 (東栄町の事例)



立会う箇所を相談



境界確認、杭設置



森林所有者全員で現地確認

地域の方々がその地域の森林をまとめ、森林所有者が集まり境界を確認し、杭打を行ないました。

※森林の整備を進めるためには、所有者の確認、同意取得などの取組が必要です。

[資料編:資-1-3]

- 事業実施に伴い発生した間伐材のうち、利用されている量は年々増えている。
(表3-1-4)

【表 3-1-4 間伐材の利用状況】 (m³)

区 分	H21	H22	H23
利用材積	1,467	3,211	5,232

2 里山林整備事業

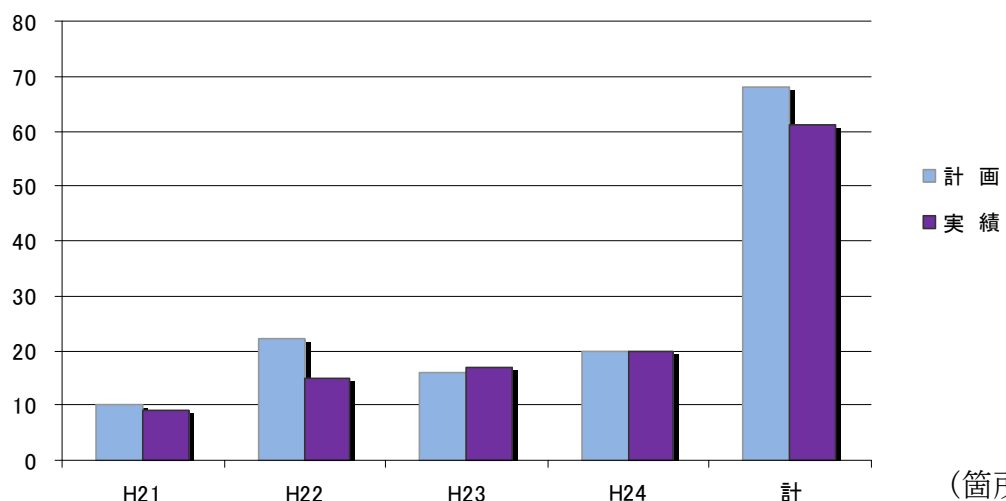
里山林を再生するために簡易防災施設の設置等を含め、県営により整備を実施するほか、市町村が行う地域住民やNPO等との協働による提案型の里山林整備や手入れのされていない里山林の健全化のための整備に対して交付金を交付する。

(1) 実績

- 平成24年度までの計画68箇所に対して、61箇所の整備を実施。全体計画192箇所に対する進捗率は約32%となっている。
- 市町村の取組を支援する「里山林健全化整備事業」の進捗率が低くなっている。
(表3-2-1)

【年度別実績及び進捗率】

整備数(箇所)



区分	H21	H22	H23	H24	計	全体計画 <進捗率>
計画	10	22	16	20	68	192
実績	9	15(3)	17(1)	20(5)	61(9)	<31.8%>

※ () は前年度からの継続事業の重複箇所、外数。H24実績は見込み。

【表3-2-1 事業別整備箇所数及び進捗率】

(箇所)

事業名	全体計画	H21	H22	H23	H24	実績計	進捗率
里山林再生整備事業 (県営事業)	42	2	4	10	5 (3)	21 (3)	50.0%
提案型里山林整備事業 (市町村交付金事業)	30	5	6 (3)	3 (1)	1 (2)	15 (6)	50.0%
里山林健全化整備事業 (市町村交付金事業)	120	2	5	4	14	25	20.8%

※ () は前年度からの継続事業の重複箇所、外数。H24実績は見込み。

【里山林整備事業の実施状況】 左：整備前、右：整備後

<里山林再生整備事業（豊田市）>



竹林・森林整備、筋工設置

<提案型里山林整備事業（岡崎市）>



歩道、案内板設置

<里山林健全化整備事業（幸田町）>



侵入竹林の整備

【里山林整備事業地の利活用の状況】

地域住民や活動団体等による継続した整備や利活用が行われている。

＜提案型里山林整備事業（豊橋市）＞



伐採木をチップ化し歩道に散布

＜提案型里山林整備事業（田原市）＞



不要木を伐採し歩道を整備

＜提案型里山林整備事業（日進市）＞



整備後に、里山保全実践講座や親子里山教室のフィールドとして活用

（２）成果・波及効果

- この事業により里山林の整備が進むとともに、地域やNPOによる継続的な取組につながっている。

特に、提案型里山林整備事業の実施地では、地域や活動団体による保全や活用の取組が継続しており、延べ1万人以上の方が活動に参加している。（表3-2-2）

【表3-2-2 里山林整備活動の状況】

（団体、日、人）

区分	H22	H23	H24	計
活動団体数	2	10	14	26
活動日数	56	268	302	626
延べ参加者数	5,232	6,481	2,608	14,321

※H24は9月末までの集計 [資料編:資-1-5]

- 里山林整備事業に関して、市町村や地区自治会等からの相談件数が増加しており、里山林に対する意識の高まりが感じられる。（表3-2-3）

【表3-2-3 里山林整備事業関係の相談件数の推移】

（件）

区分	H20	H21	H22	H23	H24	計
相談件数	17	27	24	28	36	132

※H24は9月末までの集計 [資料編:資-1-4]

3 都市緑化推進事業

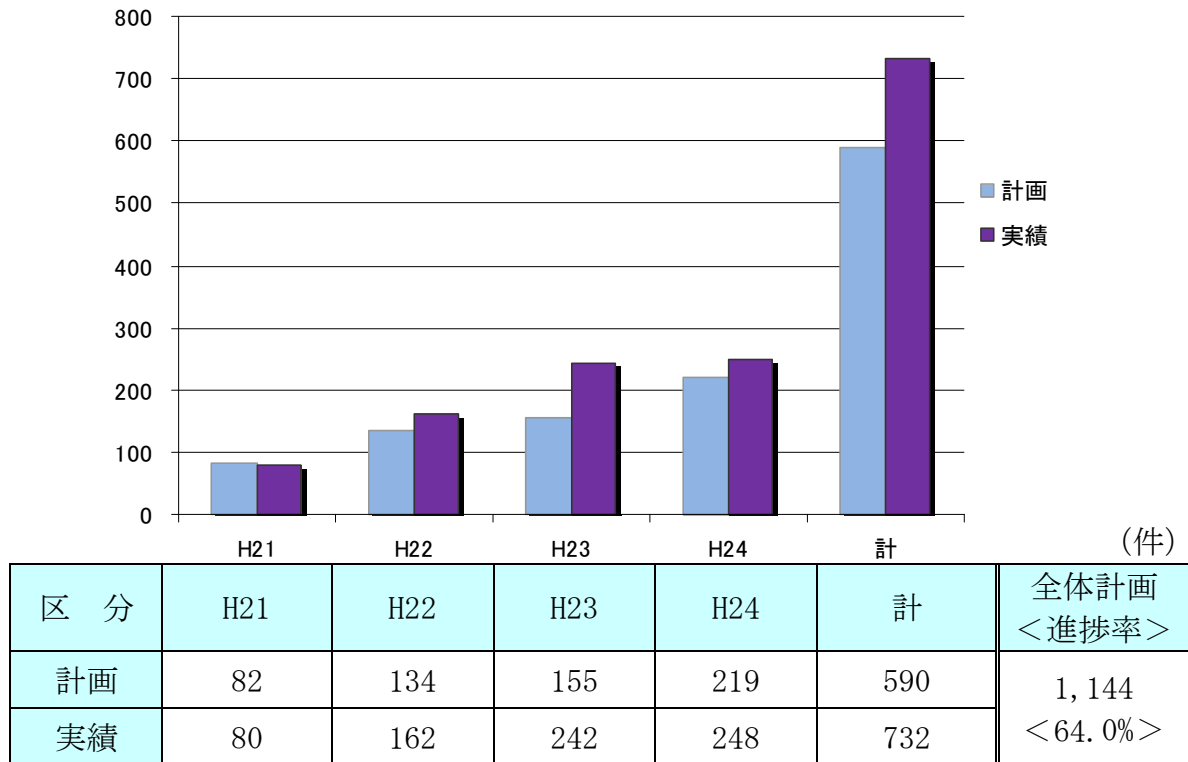
都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、美しい並木道の再生、県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援に要する経費を市町村に交付する。

(1) 実績

- 平成 24 年度までの計画 590 件に対し、732 件の事業に助成。
全体計画 1,144 件に対する進捗率は 64%となっている。
- 美しい並木道再生事業は、すでに全体計画を上回る箇所数を実施。(表 3-3-1)

【年度別実績及び進捗率】

実施数(箇所)



※H24 実績は見込み

【表 3-3-1 実施箇所数】

区分	全体計画 (H21~H30)	実績計	進捗率
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	60箇所	52箇所	86.7%
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	460件	316件	68.7%
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	24箇所	61箇所	254.2%
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	600回	303回	50.5%

[資料編:資-1-5]

●身近な緑づくり



用地買収による緑地の保全（扶桑町）

「美しい愛知づくり景観資源 600 選」に選ばれた名鉄犬山線扶桑駅近くの樹林地（面積約 0.89ha）を町が買い取り、緑地を保全。

●美しい並木道再生



並木道再生（豊川市）

市民に「桜トンネル」と親しまれている並木道の再整備。老木の桜を植え替え、郷土風景を次世代へ承継。

●緑の街並み推進



壁面緑化（小牧市）

フッキソウ、ヤブコウジ、ツワブキなど 40 種の植物を植栽し、生育状況等を検証。



屋上緑化（名古屋市）

オフィス兼マンションの屋上緑化を整備。約 80 m²の芝生に、菜園、花壇を整備し、常緑高木のシマトネリコを植樹。



空地緑化（大府市）

知多半島の生態系ネットワークづくりの一環として JR 東海道線大府駅近くで企業がビオトープ（面積約 1,100 m²）を整備し、一般に開放。



駐車場緑化（名古屋市）

COP10 に併せてホテルの駐車場緑化を整備。名古屋工業大学の協力により、環境変化の調査を実施。

●県民参加緑づくり



県民参加による植栽
(大府市)

ニツ池公園で市民が育てたドングリの苗木などを市民参加により植樹。



竹林づくり講座
(知多市)

佐布里池の周囲の竹をチップ化する竹林整備、竹工作などの竹林づくり講座を開催。



森づくりリーダー育成講座
(名古屋市)

樹林管理や自然観察会などの森づくり活動に取り組む指導者を育成するため、知識、技術を身に付けることを目的とした講座を開催。



県民参加による園庭芝生化
(みよし市)

園児やその家族、地域の方々の参加でポット苗方式の芝生化を実施。3年間で10市31施設約27千㎡を芝生化。



保育園の園庭芝生化
(一宮市)

園児のけがの減少、環境や緑化への興味増加などの多様な効果がある園庭の芝生化。



ビオトープの整備
(みよし市)

ビオトープを整備し、カキツバタ、ショウブ、アヤメなどを植樹。



ビオトープの整備 (豊橋市)

吉田方小学校の運動場にビオトープ(面積約132㎡)を整備し、周囲にクスノキ、コナラなどを植樹。



小学校の緑化 (扶桑町)

横浜国大名誉教授の宮脇氏の指導により校庭にシイ、タブ、カシなどを植樹し、ビオトープを整備。



ハンギングバスケット
(蒲郡市)

JR東海道線蒲郡駅前広場でハンギングバスケットを整備。その後、継続して市民ボランティアにより維持管理。

(2) 成果・波及効果

- 県民参加緑づくり事業で、延べ 3 万 9 千人の県民が植樹活動に参加している。
(表 3-3-6)

【表 3-3-6 県民参加人数】 (人)

区 分	延べ参加人数			
	H21	H22	H23	計
県民参加緑づくり事業	5,969	13,750	19,279	38,998

- 市町村における緑化に関する独自の取組が増加している。(表 3-3-7)

【表 3-3-7 市町村の取組状況】 (件)

区 分	H20	H23
制度 (建物緑化、緑化地域制度、都市緑化基金 など)	76	110
イベント (植樹際、緑化講演会、その他緑化に関するイベント)	25	76
合計	101	186

[資料編:資-1-6]

- 優良な緑化件数が増加している。(表 3-3-8)

【表 3-3-8 優良な緑化件数】 (件)

区 分	H21	H22	H23	合計
身近な緑づくり事業 (市町村交付金事業)	5	11	8	24
緑の街並み推進事業 (民間への間接交付事業)	7	23	29	59
美しい並木道再生事業 (市町村交付金事業)	4	13	14	31
県民参加緑づくり事業 (市町村交付金事業)	8	13	13	34
合計	24	60	64	148

※各事業の対象となった取組について、市町村計画等への位置づけや、地域の土地利用への影響、住民参加の度合い、緑化の規模等の項目で点数評価し、満点の 5 割以上を優良な緑化と位置づけている。

[資料編:資-1-7]